

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 和歌山県立星林高等学校

種別  保育園・幼稚園       小学校       小中一貫教育  
 中学校       中高一貫教育       高等学校  
 教員養成       技術/職業教育  
 特別支援学校       その他 (                                  )

所在地 〒641-0036  
和歌山市西浜2-9-9

E-mail postmaster@seirin-h.wakayama-c.ed.jp

Website : http://www.seirin-h.wakayama-c.ed.jp/

児童生徒数 男子431名      女子524名      合計955名  
児童・生徒の年齢 16歳～18歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                                  )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

国際交流科1年生の海外研修旅行(カナダ)をはじめ、全生徒対象としたタイ訪問研修、中国姉妹校訪問研修を実施した。研修参加者には、研修後、事後学習として感想文を提出させたり、学校説明会等で発表させたりしている。

海外研修旅行(カナダ)から帰国した後は、事後学習として生徒は各自テーマを設定し、カナダに関する調べ学習を行いクラスで発表し、代表者数名は国際交流科1・2年生(80名)の前でも発表した。1年生にとっては、海外研修旅行の事前学習として役立っている。中国姉妹校訪問研修は、2年間なかった交流が再会し喜んでいる。平成28年度には、姉妹校からの訪問団を受け入れる予定になっている。

受入に関しては、和歌山県観光交流課を通してマレーシア訪問団を受け入れたり、オーストラリアの訪問団を受け入れた。オーストラリアの学校には、来年度訪問団を派遣することを検討しており、英語圏との相互交流に発展できないか検討中である。

和歌山県文化国際課が請け負っていたアジア太平洋州の大学生受入事業では、和歌山城案内を体験したり、トルコ軍艦エルトゥールル号の遺跡発掘プロジェクトを進めるトゥファン氏の講義や遺品調査体験なども行った。また、アジア・オセアニア高校生フォーラムでは、観光をテーマにした分科会に参加し、“Shine Again, Charm Of Wakanoura”と題し、地域の問題を指摘し、魅力を紹介するなどした。様々な交流を通して、自国の文化や歴史、社会を学習できる有意義な活動ができた。

異文化理解促進の一つとして、第二外国語の習得を促進している。本年度も、第4回第二外国語レシテーションコンテストを開催し、韓国語、中国語、スペイン語選択生徒は、同じ課題である「星の王子様」の一節をそれぞれの言語で暗唱し発表した。生徒にとっては、各言語の音声面の特徴を体感でき、言語の面白さや語学学習の意欲向上に貢献している。

平和学習に関しては、普通科2年生で沖縄修学旅行を実施している。旅行後には、基地問題や沖縄の自然環境や民俗など班別にテーマを設定し、調べ学習と発表をすることで、平和や人権、環境に関する学習につながっている。国際交流科の事後学習発表者も含めクラス代表者が2学年生徒全員の前で成果を発表した。

防災および地域理解の側面においては、学校全体で防災及び減災意識を啓発するために講演会と訓練を実施した。1年生は、非常食(アルファ米の炊き出しや段ボールパテーションの組み立て、AEDを使用した普通救急救命講習を実施し、避難経路の確認や地域の地形の確認を行うため近くの高津子山に登った。

これからも交流、および語学教育を中心に異文化理解を促進し、平和や防災、環境など共通課題に取り組みながら、国際社会の一員としての自覚を高める取り組みを進めたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )